

3 集団面接

面接には、個人面接・集団面接・グループディスカッションなど様々なスタイルがありますが、一次面接のほとんどは集団面接を取り入れています。集団面接は、複数の人を比較して評価しますので、違いが一目瞭然です。

まずは、集団面接のポイントをマスターし、第一関門を突破しましょう。



集団面接での注意点

① 他の方の話も聴く

他の方が話している時の「聴く姿勢・態度」が見られています。発言者のほうを見たり、うなずいて聞いている態度を表しましょう。他の方が発言したあと「あなたはどう思いますか?」との質問を向けられる場合があります。

② 話が長すぎるのは禁物

数人が発表するので、目安は1人1分程度。話が長いと、周りへの配慮ができない人だと評価されます。ダラダラと話さず、簡潔、的確かつ具体的に答えましょう。

③ 何でも目立とうとしない

集団の中で目立てばいいとは限りません。虚勢を張らずに、自分らしさをアピールしましょう。

④ 同じ意見でも慌てない

「私も同じです。」は禁物です。他の方と同じ意見でも、無理に変えずに「私も同じ意見になりますが」と断りを入れ、表現を変えたり、自分の体験談などを加え個性を出しましょう。

4 個人面接

グループディスカッションや集団面接が終わり、次の段階に進んだ時に実施されることが多い個人面接です。集団面接と違い、周りを気にせず自分のペースで答えることができます。自分をアピールするチャンスですので、自己分析をしっかり行い、面接に臨みましょう!



個人面接での注意点

① 第一印象を上げる

第一印象が良いと、これから始まる面接にも好感を持って聞いてくれます。笑顔で礼儀正しい態度を心がけましょう。(ハロー効果)

② 経験の振り返りをしっかりと

面接では、これまでの経験についての質問が多くあります。ただ経験を伝えるのではなく、その中に自分らしい「考え」や「行動」を具体的に伝え、仕事に役立つ強みや能力をアピールしましょう。

③ 企業研究をしっかりと

企業研究、職種研究をしっかりと行うことで、自分の働くイメージがつかめます。「自分の考えと似ている」「自分ならこんな風に仕事ができる」など企業情報の中から自分との接点を見つけてください。

④ 質問でアピール

個人面接では、かならずと言っていいほど、「何か質問はありませんか?」と聞かれます。どれだけ企業、仕事の事を理解しているかを知るために聞かれている場合がほとんどです。企業研究をしっかりと行い、志望意欲が伝わる質問を考えてください。